

第49回 高岡地区中学校総合選手権大会 柔道競技実施要項

- 1 期 日 平成26年6月14日(土) 午前9時開会 男女団体戦(予選リーグ)
男女団体戦(決勝トーナメント)
平成26年6月15日(日) 午前9時開会 男女個人戦(各8階級)

※ けが防止のため、団体戦・個人戦を別々の日に行う。

2 日 程

14日(土)

7:40~8:30 計量・服装検査
8:40~9:00 審判監督会議
9:00 開会式
9:20 競技開始(団体)
14:30 終了
14:30~ 団体戦表彰式

15日(日)

7:30~ 開場
8:30~8:45 審判監督打ち合わせ
9:00 競技開始(個人)
14:00 競技終了
14:00 閉会式
(個人戦表彰式含む)

- 3 会 場 県営高岡武道館(両日とも7時30分に開館)
高岡市関町7-2 TEL 24-1438

4 実施内容

団体戦(14日(土))

- 男子・監督1名、選手5名(補欠2名)、女子・監督1名、選手3名(補欠1名)
- 選手の構成は体重の最も重いものを大将とし、以下順次体重順に編成する。
- 交代の選手と入れ替えた場合においても同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。

個人戦(15日(日))

(男子8階級)

- ・50kg級 ・55kg級 ・60kg級 ・66kg級 ・73kg級
- ・81kg級 ・90kg級 ・90kg超級

(女子8階級)

- ・40kg級 ・44kg級 ・48kg級 ・52kg級 ・57kg級
- ・63kg級 ・70kg級 ・70kg超級

5 競技方法

(1) 団体戦

(男子) 4つのゾーンに分けて予選リーグを行い、各ゾーンより上位2チームを選抜し、8チームによる決勝トーナメントを行う。4チームが地区代表となる。

(女子) 2つのゾーンに分けて予選リーグを行い、各ゾーンより上位2チームを選抜し、4チームによる決勝トーナメントを行う。2チームが地区代表となる。

※男子は3, 4位決定戦を、決勝戦に先立って行う。

※女子の参加校が少ない場合は、リーグ戦で行う。

(2) 個人戦

男子の部は、各階級とも市代表4名+学校代表1名によりトーナメント戦を行い、地区代表4名を選抜する。女子の部はオープン参加とする。なお、申込書には各市代表4名の順位を明記する。

(3) 試合時間

団体・個人とも3分間。延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とし、最初に「指導」を受けた選手が敗者となる。または、最初に技によるスコアを得た選手が勝者となる。

(4) 順位決定と判定基準

- ① 団体戦の個々の試合は、「指導」2つの差または「有効」以上とする。ただし、試合終了時に、技の効果が同等の場合は「指導」が少ない選手が勝者となる。

※ 団体戦における勝者点数配分…一本:100点、技有:10点、有効…1点、僅差:0.1点

技の効果が互いにない場合

- ・指導1つの差(指導1対指導2、指導2対指導3)→引き分け
- ・指導2つの差(指導0対指導2、指導1対指導3)→僅差勝ち(得点は0.1点)

- ② 団体戦における予選リーグの勝敗は、次のように決定する。
- ア、チーム間における勝ち・引き分け・負けの率による。
 - イ、アにおいて同等の場合は、勝ち点の合計による。
 - ウ、イにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - エ、ウにおいて同等の場合は、負け数と内容により決定する。
 - オ、エにおいて同等の場合は、代表戦によりトーナメントへの出場を決定する。
- 代表戦で、3分間の本戦後、ポイントが同じ場合は、ゴールデンスコア方式を行う。（代表戦での「僅差勝ち」の判定基準は「指導1」とする。）
- ③ 団体戦におけるトーナメントの勝敗は、次のように決定する。
- ア、チーム間の勝ち点による。
 - イ、勝ち点が同じときは、内容により決定する。
 - ウ、内容も同じ場合は、代表（1名）により決定する。代表戦で得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。なお、代表戦での「僅差勝ち」の判定基準は「指導1」とする。
- ④ 個人戦での判定基準は「有効」以上または「指導1」以上とする。ただし、試合終了時に、技の効果が同等の場合、反則によって勝敗は決するが、点数がつく勝ち方（有効＝1点、技あり＝5点等）にはならない。試合終了時に、指導の差が一つあれば、勝敗は決する。GSは無制限で、技の効果があるか、反則が取られると、その時点で試合終了となる。

代表戦の選手は任意で選ばれた者とする。

本年度からのおもな変更点

- 1 技の効果を優先する。「僅差勝ち」は「指導1の差」から発生するが、優劣の成り立ちは以下ようになる。（団体戦の個々の試合の「僅差勝ち」は「指導2以上」の差から発生する。）
「一本」＝「反則勝ち」>「技有り」>「有効」>「僅差」（指導1以上の差）
- 2 抑え込みが場内で宣告された場合は、試合場から両選手が出て抑え込みは継続される。
- 3 抑え込みのスコアは、**有効10秒、技有15秒、一本20秒**とする。
- 4 裏ポジションでの抑え込み「裏固」は有効とする。
- 5 絞技が試合場内で始まり、相手の選手に対してその効果が認められる時、選手が場外に出てそのまま続行される。（連続した一連の技は返しを含めても継続される。）
- 6 「指導」については、国際柔道連盟試合審判規定(2014-2016)にしたがって宣告される。たとえば、ある選手が、組み手争いの中で2回組み手を切った後、3回目に切った場合に指導が与えられるようになった。
- 7 スーパー一本を適用する。（ブリッジによる着地など）
- 8 帯、背部、形襟、ピストルグリップ、ポケットグリップなどは技を施すときに瞬間的に持つことを認める。ただし、技を施さない場合は「指導」を与える。
- 9 立ち技で帯から下への攻撃は全て「反則負け」の対象となる。（肘で制することを含む）
- 10 個人戦において両試合者が同時に累積による「反則負け」を受けた場合には、その試合の勝敗は、GSによって決定する。また、両試合者が直接的「反則負け」を受けた場合には、両試合者とも次の試合に進めないものとする。ただし、準々決勝以上においては、再試合により決着をつける。※県選手権出場権獲得のため

(5) 県選手権大会への出場

団体は男子が上位4校、女子が上位2校が出場できる。
個人は男女とも各階級上位4名が出場できる。

6 表彰

表彰は、団体、個人とも3位まで行う。

7 競技規則

- ・ 国際柔道連盟試合審判規定(2014-2016)・「少年大会申し合わせ事項」で行う。
- ・ 細部における審判規定運用上の申し合わせ事項は、日本中体連柔道競技部ブロック長会議「審判規定『少年大会申し合わせ事項』周知手順及び運用上の確認などについて」（2010.4.16～17）に沿って実施する。
- ・ コーチの振る舞いについて、全柔連理事会・評議員会資料（H23.3.22）に準ずる。

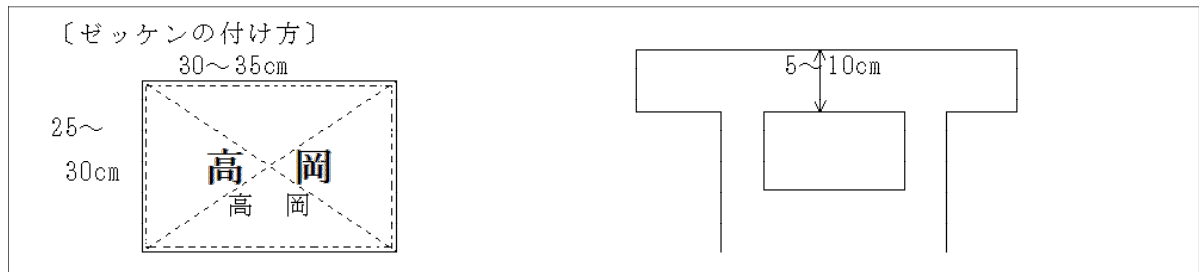
8 申し込み

- ・ 参加申込書は、**5月27日（火）**まで五位中学校 西田誠まで送る。
（FAX可だが、**職印のある正式文書は抽選当日まで届くようにする。**）

9 その他

(1) 公式計量・柔道衣検査

- ① 計量は原則、男子は上半身裸・ズボン着用で、女子は上半身Tシャツ・ズボン着用で行う。
※ なお、県選手権大会、県選抜大会以上の大会については計量は1度のみである。
(予備計量時間がとられているため。なお、個人戦については、下半身はパンツ・スパッツでのみの計量、着衣無しの計量でも可とする。)
- ② 団体戦計量は、1回目の記録を正式なものとする。個人戦に関しては、過不足の場合、時間内なら何度受けてもよい。(団体戦・個人戦共に14日(土)に計量する。)
- ③ 団体戦の計量及び柔道衣検査は学校単位で受ける
- ④ 柔道衣検査はパスするまで何度受けてもよい。
- ⑤ 本大会への出場については、新規格の柔道着・柔道帯の着用はあえて義務づけない。しかし、県選手権大会より上位大会には、認証柔道着・柔道帯での出場が義務づけられる。したがって、県選手権大会への出場資格を得た選手は、これらが必要となる。なお、1年生選手については来年度以降のことを考慮して、新規格の柔道着・柔道帯を用意することが望ましい。
- ⑥ 女子は、上衣の下に、相当の丈夫さがあり、下穿の中に入る十分な長さのある、白色の半袖で丸首シャツを着用する。(ワンポイントのマークについては、最大20cm²のサイズならば認められる。なお、柔道衣を着用したときに、見えてはならない。)
- ⑦ ゼッケンの規格等については、新規格とする。出場者は周囲と対角線を強い糸で縫いつけたゼッケンが付いた柔道衣を着用する。ゼッケンに〇〇中の中の文字はつけない。



- ⑧ 所属名称または所属を表すエンブレムは左胸に固定した状態で最大100cm²までのものは認められる。

(2) 安全面の考慮事項

- ① 中学校入学後に柔道を始めた1年生は、原則4~8月末までの約5ヶ月間は試合に出場させないこと。ただし、スポーツ少年団等で経験がある1年生は、体力・技能・試合経験・実績等を見極めて判断すること。体力や技能の向上を見極めて慎重に判断し、保護者の同意も得ること。
- ② 脳震盪対応について下記事項を遵守する。
 - ・ 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ・ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して大会に出場することは、不可とする。なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。

(3) その他

- ① スポーツエキスパートは、出場校の校長が認め、所定の様式で県中体連に届出された者であること。
- ② 県中学校選手権大会相撲競技への出場権を獲得し、同大会相撲競技への出場を希望する生徒は、本大会への出場を辞退すること。(エントリーはできる。)
(県選手権大会は複数の競技に出場できないため。)
- ③ 組合せ抽選会は**5月29日(木)午後5時半より五位中学校で行う。**
なお、各市主任は市の大会の結果を事前に地区主任までメールまたはFAXで送る。
- ④ 県選手権大会に出場が決定した学校は、エントリーする者(マネージャーは除く)一人500円の参加料を大会終了後に納付する。